本社ガスビルサービスセンター・支社所在地および電話番号

支社	〒	所在地	☎	電話番号
南支社	〒557	大阪市西成区玉出東2丁目9番41号	☎大阪	06(652)0001
北支社	〒532	大阪市淀川区十三本町3丁目6番35号	☎大阪	06(301)1251
南部支社	〒590	堺市住吉橋町2丁2番19号	☎堺	0722(38)1131
北部支社	〒569	高槻市藤の里町39番6号	☎高槻	0726(71)0361
阪神支社	〒663	西宮市和上町4番11号	☎西宮	0798(26)3101
東部支社	〒578	東大阪市稲葉2丁目3番17号	☎河内	0729(62)1131
京阪支社	〒573	枚方市西田宮町16番17号	☎枚方	0720(41)1251
神戸支社	〒650	神戸市中央区相生町5丁目13番10号	☎神戸	078(576)5231
京都支社	〒640	京都市中京区烏丸御池梅屋町358	☎京都	075(231)8151
奈良支社	〒631	奈良市学園北2丁目4番1号	☎奈良	0742(44)1111
和歌山支社	〒640	和歌山市本町1丁目5	☎和歌山	0734(31)2461
姫路支社	〒670	姫路市神屋町4丁目8	☎姫路	0792(85)2221
東播支社	〒675	加古川市加古川町粟津29－1	☎加古川	0794(21)1801
豊岡支社	〒668	豊岡市三坂町6丁目57番地	☎豊岡	07962(3)2221
湖南支社	〒525	草津市追分町字荒堀680の1	☎草津	0775(62)5311
彦根支社	〒522	彦根市大東町12－11	☎彦根	0749(22)3131
長浜営業所	〒526	長浜市南呉服町3番4号	☎長浜	0749(62)7171
本社ガスビルサービスセンター	〒541	大阪市中央区平野町4丁目1番2号	☎大阪	06(202)2221

大阪ガス株式会社

おねがい

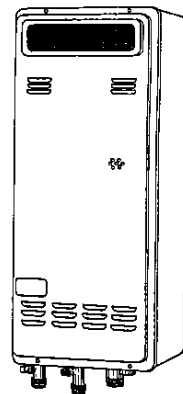
ガスくさいときは、ガス元栓を閉め、窓を全開にして(火気に注意して)大阪ガス支社、サービスショップにご連絡ください。

5100308001

ガス瞬間湯沸器

ゆうゆう24

33-867型/33-868型

型式名 OUR-2401／OUR-2401-CU

取扱説明書

ご使用前に必ずこの説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。なお、ご不明な点があればお買い求めの販売店にお問い合わせください。

大阪ガス

ごあいさつ

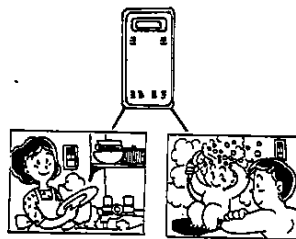
このたびは、大阪ガスのガス瞬間湯沸器をお求めいただきまして、まことにありがとうございました。

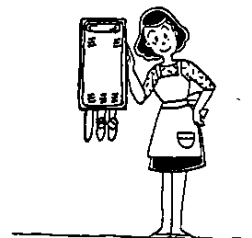
別添の保証書とともに、この「取扱説明書」を大切に保存してください。

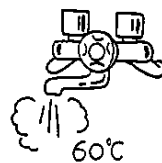
もくじ

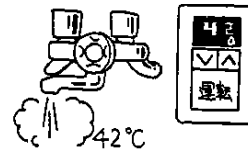
特徴・機能のご紹介

●パワフルな給湯能力

給湯能力がグーンとアップ。冬でもたっぷりのお湯が使えます。

●コンパクトなボディ

能力はパワーアップしてもボディはコンパクトです。

●出るお湯はいつも60℃

出湯温度60℃に固定されていますので、混合水栓の給水側を調節するだけで、すぐにお湯が使えます。

●別売コントローラー使用でお好きな湯温

別売コントローラーを使えば、湯温(36℃、38℃～46℃、48℃、60℃、約70℃)が変えられます。

(36℃、38℃～46℃、48℃　60℃、約70℃で出湯)

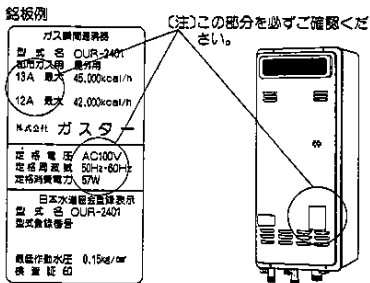
●マイコンが安定したお湯をコントロール

電子式ガス比例制御方式を採用。マイコンが24号～2.5号相当まで無段階にガス能力を制御します。使うお湯の量や水量が変わっても安定した湯温が得られます。

必ずお守りください

●ガスの種類を確かめてください

●機器に貼付してある銘板に表示されているガス(ガスグループ)以外のガスでは使わないでください。
●銘板に表示してある電源(電圧・周波数)以外の電源では使わないでください。

銘板例

(例:都市ガス13A・12Aの場合)

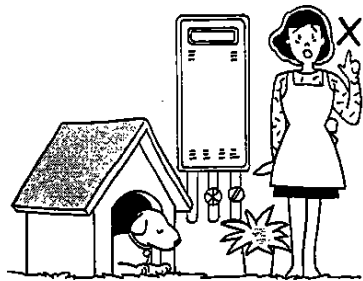
●本器の用途について

●給湯およびふろ以外には使わないでください。
●しばらく使わなかったとき、はじめに出てくる水は飲まないようにしてください。
●本体はソーラー対応できません。

●補助用具について

●この機器の付属品・純正部品以外は使わないでください。(不完全燃焼の原因となります。)
●水圧の低い地域では泡沫水栓を使わないでください。

●使用場所について

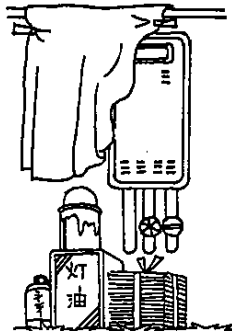
●排気口から排気ガスが出ますので、近くに危険物、植木、ペット、その他加熱されて困るものは置かないでください。

●長期間使用しない場合

●長期間使用しない場合は必ずガス栓・給水栓をしめ、電源プラグをコンセントから抜いてさらに機器の水抜きを行ってください。
●水抜き方法については、P.14「凍結予防のしかた」に従ってください。

●やけどのご注意

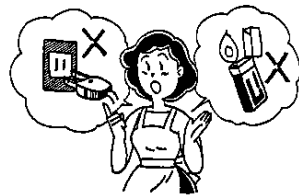
●使用中および消火直後は、排気口が高温になっていますので、絶対に手をふれないでください。

●火災予防について

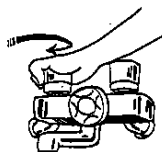
●機器の上や、周囲には燃えやすいものを置かないでください。排気口は洗たく物やビニールなどでふさがないでください。

●日常の点検・お手入れ

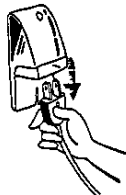
●日常の点検・お手入れは、必ず行ってください。
●詳しくはP.16「点検・お手入れ」をご覧ください。

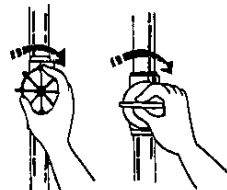
●ガス事故防止

●ガス漏れに気づいたときは、すぐに使用をやめてガス栓をしめ、お求めの販売店か最寄りの大阪ガス支社へご連絡ください。
●係員が処置するまでは、マッチやライター等を使ったり、電源プラグの抜き差しや電気器具の「入」「切」は絶対にしないでください。

●異常時の処置

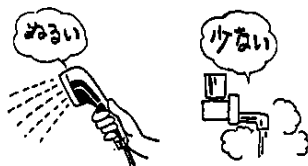
●万一、異常と思われるとき（使用中に異常音のするとき）は下図の処置をし、お求めの販売店か大阪ガス支社へ連絡してください。

1.給湯栓をしめる。

お湯の使用場所

2.電源プラグをコンセントからはずす。

機器付近

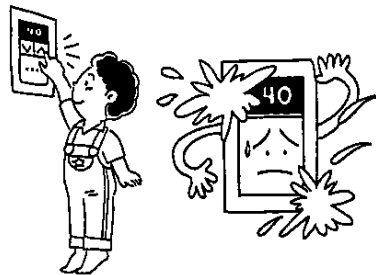
3.給水栓・ガス栓をしめる。

機器の下部

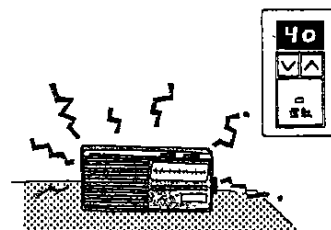
●給湯についてのご注意

●給湯栓をしぼりすぎるとお湯が極端にあつくなったり、出なくなったりします。そのようなときは給湯栓をもっとあけてください。
●しばらく使用しなかったあと、あるいは出湯を止めてすぐ再出湯したときは湯温が安定するまで多少時間がかかります。（一瞬、あついお湯が出ることがありますのでご注意ください。）
●シャワーをご使用の場合は手で湯温を確かめてからご使用ください。

●停電のとき

●停電中はご使用になれません。再通電してから運転の操作をしてください。

●コントローラー使用の際のご注意

●コントローラーは子どもがいたずらしないようにご注意ください。
●コントローラーには水をかけないようにしてください。コントローラーは防水タイプですが、故意に水をかけないでください。
●コントローラーは絶対に分解しないでください。故障の原因になります。

●コントローラーの近くでラジオを使用するとき

●ラジオの音声が乱れる時があります。このような時には、コントローラーおよびリモコン線から1ｍ以上離してください。

●雷のとき

激しい雷により、一時的な過電流で電子部品を損傷することがあります。電源プラグをコンセントから抜きますと損傷を防止できます。

各部のなまえと扱いかた

機器本体

排気口
ここから排気ガスが出ます。

給気口
燃焼に必要な空気を取り入れます。

点火確認窓
ここから点火を確認します。

コントローラー（別売）

リモコン線

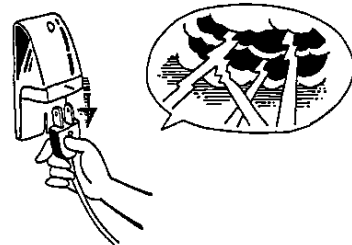
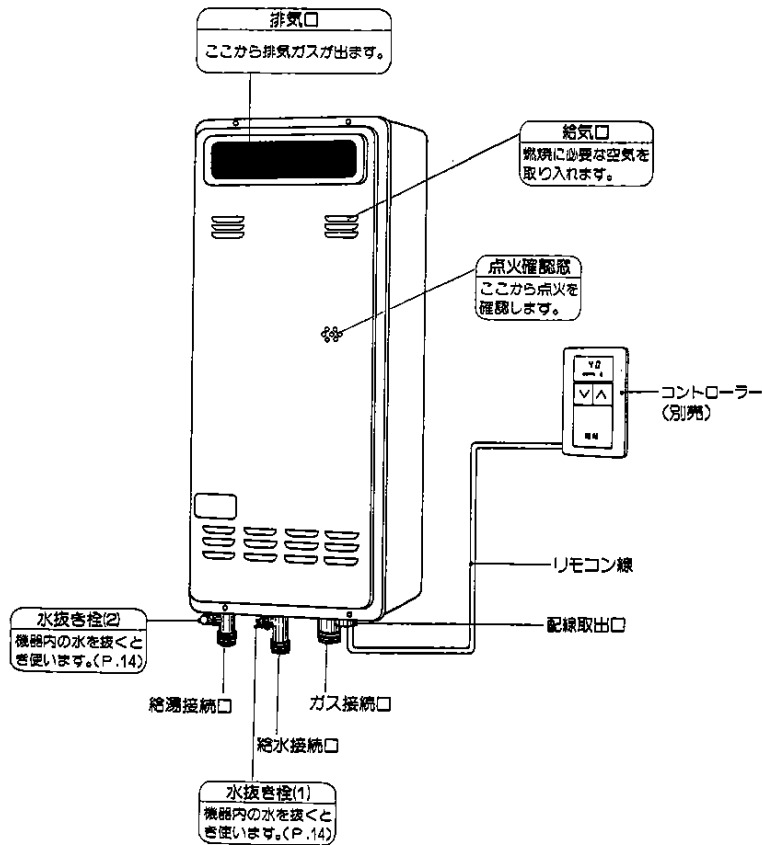
配線取出口

水抜き栓(2)
機器内の水を抜くとき使います。(P.14)

給湯接続口

ガス接続口

給水接続口

水抜き栓(1)
機器内の水を抜くとき使います。(P.14)

別売コントローラー

●コントローラーを取り付ければ使うお湯の温度を設定することができます。
●コントローラーには標準タイプ(露出型・埋込型)とシャワーコントローラーがあります。

標準タイプコントローラー

設定温度表示ランプ
運転スイッチを入れると点灯、給湯温度を表示します。(P.10)

エラー表示ランプ
機器の異常を表示します。(P.19)

他使用中ランプ(2個以上設置の場合)
点灯しているときは湯温設定はできません。(P.12)

燃焼ランプ
バーナーに点火すると点灯します。(P.10)

給湯温度設定スイッチ
給湯温度を設定します。(P.10)

運転スイッチ
ご使用になるとき押します。(P.10)

露出タイプ

埋込タイプ

シャワーコントローラー(切替スイッチ付)

設定温度表示ランプ
運転スイッチを入れると点灯、給湯温度を表示します。(P.10)

エラー表示ランプ
機器の異常を表示します。(P.19)

他使用中ランプ
点灯しているときは湯温設定はできません。(P.12)

燃焼ランプ
バーナーに点灯すると点灯します。(P.10)

給湯温度設定スイッチ
給湯温度を設定します。(P.10)

切替スイッチ
標準タイプリモコンとの湯温設定の切替スイッチです。(P.12)

運転スイッチ
ご使用になるとき押します。(P.10)

初めてお使いいただくときに…

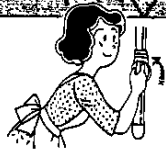
●操作前の準備と確認

1

給水栓を全開にします。

機器の下部

2

ガス栓を全開にします。

機器の下部

3

給湯栓をあけ、水の出ることを確認してからしめます。

お湯の使用場所

4

電源プラグをコンセントに差し込みます。（ブレーカーをいれます。）

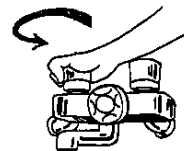
機器付近

使用方法

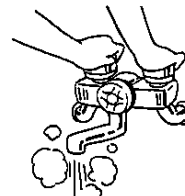
●お湯の出し方（コントローラーのない場合）

1

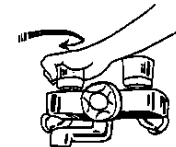
給湯栓をあけます。

●給湯栓（混合水栓のお湯側）をあけます。
約60℃の熱いお湯がでます。

2

温度を調節します。

●混合水栓のお湯、水の出しかげんで湯温を調節します。

3

給湯栓をしめます。

●給湯栓（混合水栓のお湯側）をしめます。

ご注意

①シャワーをご使用の場合は手で湯温を確かめてからご使用ください。
（一瞬あついお湯が出ることがありますのでご注意ください。）
②お湯側をしぼりすぎると運転が停止し、お湯が出なくなることがありますが、再び栓をあければ正常に運転し、お湯が出ます。

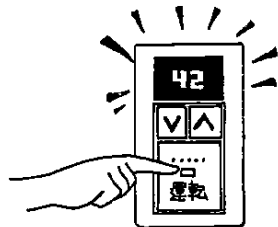
●お湯の出し方(コントローラーを1個使う場合)

1

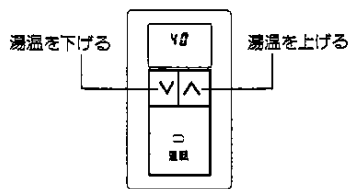
『運転スイッチ』を押します。

● 『設定温度表示ランプ』が点灯します。

※イラストのコントローラーは露出型で標準タイプのものです。埋込型も操作方法は同じです。

2

温度を調節します。

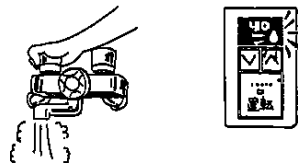
● 『給湯温度設定スイッチ』で行います。

[∧] を押すと温度が高くなり、[∨] を押すと低くなります。
湯温は36℃、38～46℃、48℃、60℃、H I (約70℃)に設定できます。

ご注意

①給湯温度表示の数字は実際の出湯温度と多少異なりますので、湯温設定の目安としてください。
②「運転スイッチ」を切って再び入れたとき、湯温はスイッチを切る前の温度となります。
③はじめてお使いになる場合や一度電源プラグを抜いたあと、再び運転操作をしたときの湯温は42℃に設定されています。

3

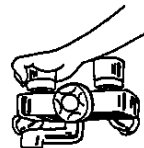
給湯栓をあけます。

● 『燃焼ランプ』が点灯し、お湯がでます。

ご注意

①シャワーをご使用の場合は手で湯温を確かめてからご使用ください。
(一瞬あついお湯が出ることがありますのでご注意ください。)
②お湯側をしぼりすぎると運転が停止し、お湯が出なくなることがありますが、再び栓をあければ正常に運転し、お湯が出ます。

4

給湯栓をしめます。

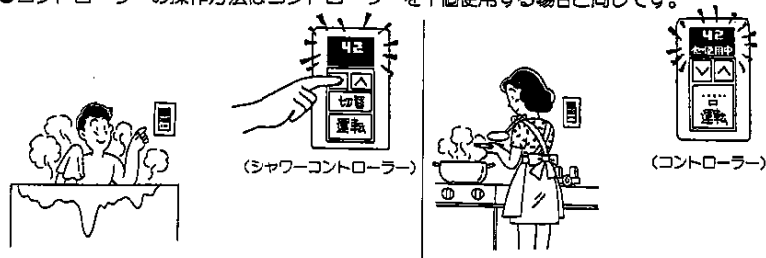
● 『燃焼ランプ』が消えます。『運転スイッチ』はそのままにしておきます。次回使うときは給湯栓の『あけ』『しめ』だけでお湯が使えます。
外出など、長時間お湯を使わない場合は、『運転スイッチ』を切ってください。

●コントローラーを2個使う場合1

1

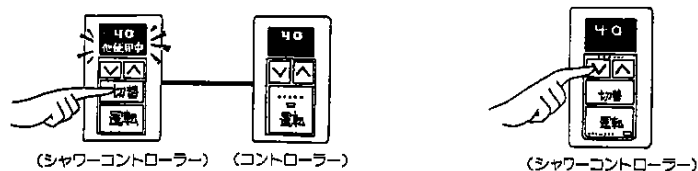
シャワーコントローラーの『他使用中ランプ』が点灯していないときはそのままシャワーコントローラーで湯温調節ができます。

●コントローラーの操作方法はコントローラーを1個使用する場合と同じです。

(シャワーコントローラー)　(コントローラー)

2

シャワーコントローラーの『他使用中ランプ』が点灯しているときは

①『切替スイッチ』を押します。　②湯温調節ができます。

(シャワーコントローラー)　(コントローラー)

(シャワーコントローラー)

●コントローラーの操作方法はコントローラー1個使用する場合と同じです。

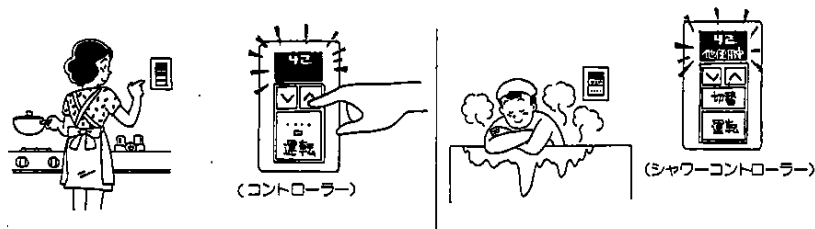
●コントローラーを2個使う場合2

1

標準コントローラーの『他使用中ランプ』が点灯していないときはそのまま標準タイプコントローラーで湯温調節ができます。

●コントローラーの操作方法はコントローラーを1個使用する場合と同じです。

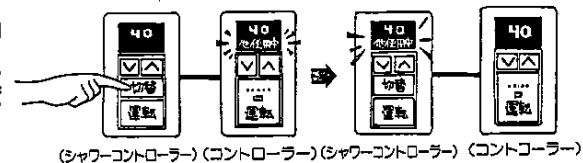
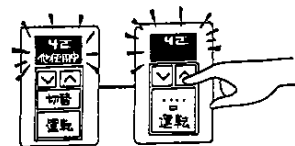
(コントローラー)　(シャワーコントローラー)

2

標準コントローラーの『他使用中ランプ』が点灯しているときは

①シャワーコントローラーの『切替スイッチ』を押します。

(シャワーコントローラー) (コントローラー) (シャワーコントローラー) (コントローラー)

②湯温調節ができます。

(シャワーコントローラー)(コントローラー)

●コントローラーの操作方法はコントローラー1個使用する場合と同じです。

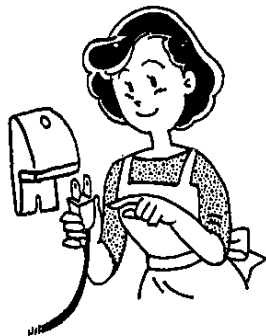
凍結予防のしかた

冬期、寒冷地だけでなく暖かい地方でも、急な寒波による凍結のため器具や配管が破損することがあります。破損した場合、高額の修理費用がかかる場合があります(有料)。設置場所の温度が氷点下になり凍結のおそれのある時は、次の方法で予防処置を行ってください。

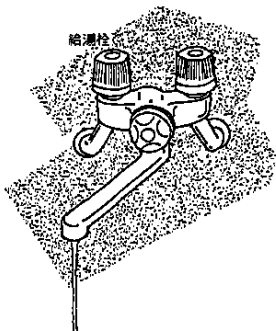
●凍結予防ヒーターによる方法

この機器には、気温がさがってくると自動的に機器内を保温する凍結予防ヒーターが組み込まれています。

● 『運転スイッチ』の『入』『切』には関係なく作動します。

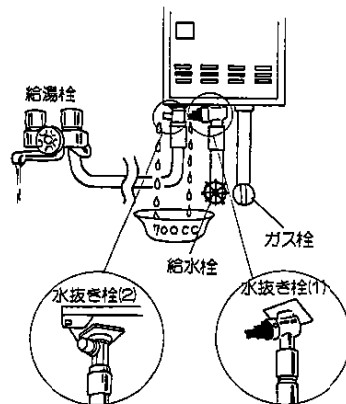
●電源プラグを抜くと作動しません。電源プラグは絶対に抜かないでください。

●停電のときの凍結予防は

給湯栓から水を流して予防します。

1. ガス栓をしめます。
2. 浴室の給湯栓をあけ、少量（ただし特に寒い日は多め）の水を浴そうに流し込んでください。
3. 流量が不安定なことがありますので、約30分後にもう一度流量を確認してください。

●長期間家をあけるため、やむなく電源を切るときの凍結予防は……

●機器内の水抜きをして予防します。次の順序で必ず行ってください。

1. コントローラーの運転スイッチを切ってください。コントローラーのない場合は、給湯停止後5分たってから水抜き操作をしてください。
2. ガス栓をしめます。
3. 電源プラグをコンセントから抜きます。（ブレーカーを切ります。）
4. 給水栓をしっかりしめます。
5. すべての給湯栓を全開にします。
6. 水抜き栓(2)をゆるめてはずします。
7. 水抜き栓(1)をゆるめます。(2～3回転)

※排水量は約700ccですから、これに見合った容器を用意してください。

●水抜き後再び使用するときは、次の順序で行ってください。

1. 水抜き栓(1)、(2)を元通りにしめます。
2. 給水栓を全開にし、給湯栓からの水の出ることを確認してから給湯栓をしめます。
3. 電源プラグをコンセントに差し込みます。(ブレーカーを入れます。)
4. ガス栓を全開にして、点火・給湯の操作を行います。

※給水操作をしても水が出ない場合は、電源プラグをコンセントに差し込んだまま20分ほどお待ちください。

ご注意

①上記の方法では、給湯配管やバルブ類の凍結予防はできません。
　凍結予防のため、配管には必ず保温材を巻いてください。
②冷え込みの厳しい地域では、「水道凍結防止器」等を配管およびバルブ類に巻いて十分な保温をしてください。
③万一凍結した場合は、水漏れがないことを確認してからご使用ください。
④凍結して水が出ない状態で使用しますと、危険な場合があります。

点検・お手入れ

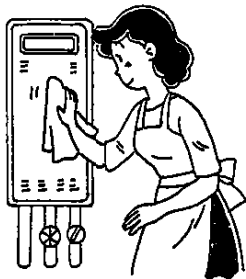
●日常の点検

●機器や配管から、水もれ、ガスの臭気はありませんか。
●運転中に機器から異常音が聞こえませんか。
●機器のまわりに燃えやすいものはありませんか。
●給湯栓の先端に泡沫器が内蔵されているものについては、時々内部のフィルター（金網）を掃除してください。

●定期点検のおすすめ。

安心してより長くご使用いただくために、年一度の安全点検をおすすめします。お求めの販売店か、最寄りの大阪ガス支社へご連絡ください。

●日常のお手入れ

機器やコントローラーの汚れは、やわらかい布を水にぬらしてかたく絞り、軽くふきとってください。ベンジン、シンナーなど使わないでください。

ご注意

●お手入れの前には、必ず給水栓とガス栓をしめ、機器が冷えてから行ってください。
●機器は絶対に分解しないでください。

故障かな？と思ったら

故障かな？と思われたらただちに使用を中止し、一度つぎのことをお調べください。

こんなとき（現象） ＼ お調べいただくこと（原因）	ガス栓の開き不十分	ガスが残り少ない、または無い（LPガスの場合）	ガス配管内に空気が残っている	ガス圧が適切でない	給水栓の開き不十分	水圧が適切でない	断水ではありませんか	水フィルターのつまり	給湯栓の絞り不十分	給湯栓の開き不十分	凍結している	給排気口のつまり	電源プラグが抜けている（ブレーカーが入っていない）	運転スイッチを押しましたか（コントローラー有りのとき）	停電している	安全装置の作動	使用ガスと銘板が不一致	使用電源と銘板が不一致	コントローラーの設定温度表示が低くなっていませんか（コントローラー有りのとき）	コントローラーの設定温度表示が高くなっていませんか（コントローラー有りのとき）
点火しない（給湯栓をあけてもお湯がでない）	○	○	○		○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○		
使用中に消火する	○	○		○	○	○		○		○						○	○	○		
異常な音をたてて燃える				○													○	○		
高温の湯が出ない	○	○		○					○										○	
低温の湯が出ない（コントローラー有りのとき）					○															○
湯量の調整ができない					○	○		○												
運転スイッチを押しても設定温度表示ランプが点灯しない（コントローラー有りのとき）													○							
処理方法	ガス栓を全開にする	販売店に連絡する（ボンベを新しく替える）	点火操作を繰り返す	※	給水栓を全開にする	※	断水が終わるまで待つ	※	給湯栓を絞る	給湯栓を開く	解凍まで使用を中止	※	電源プラグをコンセントに差し込む。（ブレカーを入れる）	運転スイッチを押す	通電するまで待つ	※	※	※	コントローラーの設定温度を高くする	コントローラーの設定温度を低くする
参照ページ	4	——	—	—	4	—	—	—	9.11	9.11	14	—	4	10	5	—	2	2	10	10

※印の場合は使用を中止して、大阪ガスにご連絡下さい

●このほかに異常があるときや、おわかりにならないときは、お買い求めの販売店、またはお近くの大阪ガス支社へご連絡ください。
●修理は絶対にお客さまご自身でなさらないでください。不完全な処置は事故のもとになります。

●こんな場合は異常ではありません。

現象	理由と処置
給湯栓を開いてもすぐお湯が出ない。	機器から給湯栓までは、距離がありますので、お湯が出てくるまでに、少し時間がかかります。
給湯栓をしめても、しばらく音がしている。	再使用時の点火をより早くするため、運転停止後約5分間は燃焼ファンを回転させています。
寒い日に排気口から白い湯気がでる。	温度差による水蒸気が発生するためで異常ではありません。
高温出湯にすると、お湯が白くなる。	水には空気が含まれていて加熱すると気泡となってあらわれるためで異常ではありません。

●エラー表示

●コントローラーにはエラー表示機能（故障診断機能）があります。
●コントローラーの設定温度表示部に故障箇所が表示されます。
●修理を依頼されるときは表示番号をお知らせください。

表示	故障箇所	対処
AA	運転モード切替スイッチ位置の不具合	修理依頼
A1	給水温度センサー系統の不具合	修理依頼
A2	給湯温度センサー1系統の不具合	修理依頼
A3	給湯温度センサー2系統の不具合	修理依頼
A4	炎検出系統の不具合	修理依頼
A5	ファン回転系統の不具合	修理依頼
A6	炎（燃焼）検出系統の不具合	ガス栓が全開になっていますか。なっていないときは、ガス栓をひらき、コントローラーの運転スイッチを一度切り、もう一度入れ、給湯栓をあけてください。エラー表示がでなければ大丈夫です。
A7	沸とう防止装置の作動または不具合	混合水栓の給水側をいっぱいにひらいて、給湯側をしぼっていませんか。そのときはコントローラーの運転スイッチを一度切り、もう一度入れ、給湯栓をあけてください。エラー表示がでなければ大丈夫です。
A8	過熱防止装置の作動または不具合	修理依頼
C2	水量制御装置の不具合	修理依頼

表示例

A1

運転

エラー表示部

寸法図

仕様

●仕様表1

品名		ガス瞬間湯沸器			
品番		33-867型/33-868型			
型式名		OUR-2401/OUR-2401-CU			
外形寸法		幅250×奥行220×高さ615			
外装材質		フロントカバー：鋼板塗装仕上げ ケーシング：鋼板塗装仕上げ			
製品重量		22kg			
接続口	ガス	20A(R3/4)			
	給水	20A(R3/4)			
	給湯	20A(R3/4)			
能力切換		比例制御方式			
最低作動水圧		0.15kg/㎠			
最低作動水量		3.0ℓ/min			
ガスの種類		13A	LPガス	6A	6C
ガス消費量(Kcal/h)		最大45,000～最小4,800		最大46,000～最小4,800	最大38,000～最小4,800
最大消費ガス量(㎥/h)		4.2	3.75(kg/h)	7.0	9.0
能力		24号～2.5号			20号～2.5号
電気関係	電源	AC100V 50Hz/60Hz			
	消費電力	57W(50Hz/60Hz)（凍結予防ヒーター作動時 170W）			
	点火方式	連続放電点火方式(ダイレクト点火方式)			
制御装置	ガス	ガス比例制御方式(フィード・バック+フィード・フォワード制御方式)			
	水	水量比例制御方式			
安全装置	立消え安全装置	フレームロッド			
	流水感知装置	フローセンサー			
	ファン回転検出装置	ホールIC			
	空だき過熱防止装置	温度ヒューズ、サーミスタ			
	器体過熱防止装置	温度ヒューズ			
	過圧逃がし装置	ブローバルブ			
	沸とう防止装置	サーミスタ			
	凍結予防装置	サーモ付電気ヒーター			
	排水装置	手動式水抜き栓			
	誘導雷保護装置	半導体			
付属部品		壁掛設置部品、フレキ管セット(2本) 取扱説明書、工事説明書、保証書			
別売部品		コントローラー一式、排気ガード、リモコンパイプセット、据置台(ℓ=450)			

保管とアフターサービス

●保管(長期間使用しない場合)

●長期間使用しない場合は必ずガス栓・給水栓をしめ、電源プラグをコンセントから抜いてさらに機器の水抜きを行ってください。
●水抜き方法については、P.14「凍結予防のしかた」に従ってください。

●アフターサービスのお申し込み

サービスのお申し込み

●サービス(点検・修理)を依頼される前に
「故障かな？と思ったら」(P.17・18)の項を見て、もう一度ご確認ください。
それでも不具合がある場合は、ご自分で修理なさらないでお買い求めの販売店、もしくは大阪ガス支社にご連絡ください。
●ご連絡の際には次のことをお知らせください。
1.品名…………ガス瞬間湯沸器
2.品番…………器具の前板面に貼付してあります。
3.現象…………できるだけ詳しく
コントローラーのエラー表示番号(別売コントローラー使用の場合)
4.お客様名、住所、電話番号、道順

（例）
(N) 33-867 (U)
大阪ガス株式会社 08

転居されるとき

●ガスの種類の異なる地域へ転居される場合
ガスの種類が異なる地域へ転居される場合には、部品の交換や調整が必要となりますので、転居先のガスの種類を確認の上、お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガス支社にご相談ください。この場合、調整・改造に要する費用は保証期間内でも有料となります。

保証・補修について

●保証期間中は……
保証書に記載のように、器具の故障について修理いたします。
保証書を紛失されますと、保証期間中であっても修理費をいただくことがありますので、この取扱説明書とともに大切に保管してください。
●　証期間経過後の故障修理について
お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガス支社にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。この製品の補修用性能部品(機能を維持するために必要な部品)の最低保有期間は、製造打切後10年間です。